

# 2022 年度自然エネ 連続講座 News

2022 年 5 月 12 日  
NO. 2  
原発ゼロの会・大阪  
エネルギー部会

## 申し込みは現在 60 名に もうひと回り、ふた回り多くのご参加を

2022 年度自然エネルギー連続講座への参加申し込みは、現在、60 名となりました。今年度の目標は大阪府内で 100 名、府外で 20～30 名、合計 120 名です。現在の参加の内訳は、

	講座Ⅰ	講座Ⅱ	講座Ⅲ	講座Ⅳ	見学会	シンポ
人数	55	44	42	44	17	27

また、地域別内訳では大阪府内 43 名、大阪府外 16 名となっています。

原発ゼロの会・大阪のエネルギー部会では、もうひと回り、ふた回り多くの参加で、2022 年の自然エネルギー連続講座を成功させるために、4 月 22 日、5 月の 9 日～11 日の 4 日間、主な団体 40 団体近くを訪問し、取り組み強化の訴えを行ないました。特に、エネルギー部会では、5 月の和田先生の講演では自然エネ・再エネをめぐる世界と日本の情勢、そして、私たち市民・国民の課題について、また、6 月の歌川先生の講演では世界的な課題となっている CO<sub>2</sub> の 2030 年までに半減、2050 年には実質ゼロを実現する道について学びます。7 月の参議院選挙に向けて、絶好の情勢・理論学習の場にもなることを訴え、参加を呼びかけています。是非、多くの方のご参加をお願いします。

## 5 月 15 日が第 1 次締め切り日です

2022 年度の自然エネルギー連続講座の第 1 次締め切り日は、5 月 15 日になっています。講座やシンポジウムへの参加は、Zoom や会場なので十分なキャパがありますので、今後もどんどん増やしていただきたいと思います。但し、飯田市の視察・見学会についてはバスの手配、宿の予約等がありますので、出来るだけ早く確定する必要があります。現在、17 名ですのでマイクロバス 1 台となりますが、エネルギー部会としてはせっきくの機会ですので、大型バス 1 台、定員 30 名を考えています。残りの席数もわずかですので、お早めにお申し込みください。

### 新電力アンケートまとまる

寄せられた 121 名の新電力アンケートについて、新電力研究会では次のようにまとめつつあります。

1. 既に多くの方が、関西電力を止めて新電力に切り替えている。切り替え先では、とりあえず大阪ガスというケースが多かった。切り替えの最大の理由は、関西電力が原発に固執していることへの批判であった。
2. 新電力への切り替えへの躊躇では、“手続きが面倒そう”“供給力や災害時対応への不安”などが

多かった。“適当な切り替え先が見つからない”、あるいは“新電力について知らない”という人も多数いた。新電力への情報不足がある。

3. 新電力への期待では「原発ゼロ・自然エネルギー推進の立場を明確にした新電力会社」設立の要望が最も多かった。しかし、まだその内容がないため、多くの方が“検討材料が少なくよく分からない”“内容による”との態度を示されていた。
4. 出来るだけ早い時期で、新電力の具体的に案の提起が求められている。